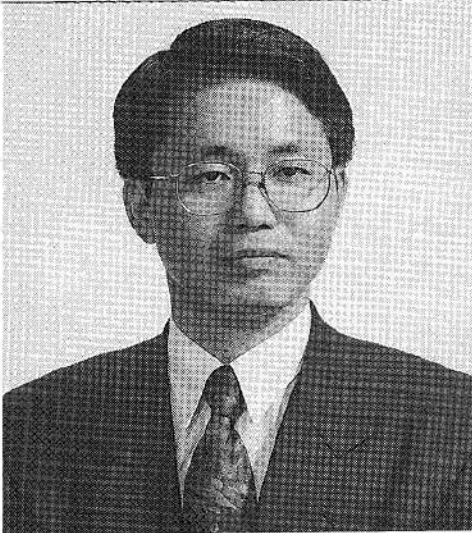
	誠心ファミリー	第7号	発行日 平成11年6月1日
			発行者 誠心会会長 下采一彦
			呉市本通6-2-23 ☎0823-25-0460

# 眞実！清潔！刷新！を原点に、 堅忍不拔の精神で捲土重来を期す

御礼の挨拶  
前呉市議会議員 谷本誠一



時下、益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。  
この度の呉市議会議員選挙では、不肖のため多大なるお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。折角の皆様のご支援にもかかわらず、ご期待に添えることができなくて、誠にもって心苦しい限りです。これもひとえに自らの不徳の致すところと、深くお詫び申し上げる次第です。

さて、今期2期目への挑戦を目指した訳ですが、江田島出身ということもあり、文字通り地盤や地縁・血縁が全くと言っていいほどなかつことが、最後まで響いたと実感しております。結果は前回の1987票、28位当選だったのに対し、今回は定数が4名削減のあおりをもろに受け、1724票36位と、78票の僅差で次々点に甘んじてしまいました。263票も減らした訳ですが、前回の選挙では、約2500軒の世帯に殆ど直接面接した上で後援会に入会して頂いたのに比べ、今回は議会活動や陳情処理等の絡みで時間が極度に制約され、新たに直接面接の上ではあります。約700軒の世帯にしか入会をして頂けません

でした。問題は前回入会して頂いた方が今回も投票して頂いていれば、新規入会者の分、票を上乗せできる理屈ですが、私の場合呉市の全国区型、浮動票が主票となっていたのが、前回からの会員の支持や投票を得られ切れなかったものと分析する次第です。もう一つは政策型の選挙、金を使わない公正な選挙が、地縁・血縁型の選挙や組織型選挙、ひいては裏の違反型選挙に対し、改革途上もあって、今一つ有権者に訴え切れなかったと言うことでもありましょう。

ところで私は、元来公正な行政を実現すべくは公正な政治姿勢からと考えるものであり、泥々とした政略的な駆け引きから、正々堂々とした政策への転換を目指すとの主張です。政策を訴えれば訴えるほど反発も聞かれましょう。しかし、心からそれに賛同し、本気になって応援して下さる人も少しずつ増えて来ています。長い目で見れば、こちらの方が流れを変えて行く原動力となるものと確信してやみません。改革は少数派から、或いは一人の有志からスタートする訳で、正しいと確信したなら、そのリスクをものともせず、将来の不安をかなぐり捨ててまでも突き進む覚悟です。

21世紀新時代へ向けての改革はまだ緒に就いたばかりです。それだけ既成概念や慣例を変えて行くことは、大きな抵抗が伴って当然であります。従って初志を曲げることなく、4年後を目指して一から再出発して参る決意です。つきましては、皆様の変わらぬご支援、ご指導を今後とも宜しくお願い申し上げます。同時に、ご家族の益々のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げまして、お詫びの挨拶とさせていただきます。



▲自宅ガレージを事務所に、金のかからない選挙を実践

# 改革途上の谷本誠一、道は遠く果てしなくも 呉市議選で1724票、78票僅差に泣く!!

呉市議選開票結果						
当	順	候補者氏名	齢	党	別	期得票数
当	1	舛野 茂樹	53	無	現	1 4280
当	2	小田 元正	63	無	現	7 3883
当	3	岩原 椋	60	無	現	5 3726
当	4	佐々木 晃	63	無	現	4 3715
当	5	増本 勝己	74	無	現	10 3480
当	6	芝 博	52	無	新	0 3340
当	7	岡本 節三	52	無	新	0 3328
当	8	大本 弘之	43	無	新	0 3181
当	9	中田 清和	72	無	現	6 3173
当	10	田中 良子	48	公	新	0 3170
当	11	荒川 五郎	56	無	現	3 2980
当	12	小泉 曙臣	51	無	現	1 2892
当	13	下西 幸雄	44	公	現	2 2889
当	14	中本 邦雄	50	公	現	2 2730
当	15	岩岡マスエ	51	公	新	0 2688
当	16	重盛 親聖	61	無	現	2 2686
当	17	山本 良二	38	民	現	1 2623
当	18	岡崎源太朗	38	無	新	0 2589
当	19	平本 和夫	61	無	現	8 2586
当	20	神田 隆彦	36	無	現	1 2545
当	21	奥田 和夫	48	共	現	2 2496
当	22	竹川 和登	54	無	現	2 2471
当	23	石崎 元成	44	無	現	2 2410
当	24	浜下 積	67	無	現	6 2341
当	25	薬研寺 馨	73	無	現	6 2231
当	26	石山 講	47	無	現	2 2173
当	27	得田 正明	49	社	現	3 2159
当	28	玉谷 浄子	51	共	現	1 2052
当	29	山上 文恵	47	社	現	3 2034
当	30	渡辺 一照	38	無	現	1 2032
当	31	茶林 正	46	無	新	0 1979
当	32	木下 正弘	55	無	現	5 1861
当	33	大野 喜子	50	社	元	1 1831
当	34	小野 一志	42	社	現	3 1802
次	35	下原征二郎	60	無	現	5 1758
	36	谷本 誠一	42	無	現	1 1724
	37	永富 弥古	55	無	新	0 1697
	38	橋本 良久	51	無	現	1 1650
	39	島本 隆視	75	無	現	5 1590
	40	岡崎 和広	46	無	元	2 1545
	41	内本紀久男	59	無	新	0 1541
	42	森岡 淑子	51	無	現	1 1536
	43	荒銭寿美子	52	無	新	0 1318
	44	田中 幹也	54	無	新	0 467
	45	花本 稻穂	76	無	新	0 277
得票数合計						107459



▲最終日、れんがどおりにて通行人に笑顔で

4月18日、平成11年呉市議会議員選挙で谷本誠一市議は2期目を目指して再度立候補。多くの支持者の期待を一身に受けたにもかかわらず、同25日、1724票、実に78票の僅差で次々点となり、善戦空しく涙をのみました。

今回の選挙戦は現職5人が引退、一人が県議選へ鞍替えを図る一方で、新人12人、元職二人と計45人が立候補。前回選挙と比べ、候補者数は一人増えただけですが、定員が38名から34名に4名削減となったため、11人が落選、競争率1.32倍という近来にない激戦となりました。また投票率が、投票時間の2時間延長や不在者投票の緩和策が効いて前回の63%から66%とアップしたため、ボーダーラインも前回の1500票から1800票に上昇。組織を背にした有力新人が多々出馬したのと併せ、2期目のジंकスもたたり5人の現職が落選、大波乱となりました。

谷本候補は江田島出身ということもあり、クリーンな選挙を戦って来て、文字通り「地盤、看板、鞆」のない、言わばハンディを背負った中で4年前初出馬。その時は期待票もあり1987票、28位で初当選しました。しかし前回に比し、議会活動等に大幅に時間を割かざるを得なかったため、以前獲得した浮動票をつなぎ止め切れなかったのと、選挙で禁物の楽観ムードを打ち消すことが最後までできなかったのが敗因となりました。

しかし「良薬は口に苦し」と言われる如く、敗戦は良き薬、不景気なこの時代に正に失業を味わされたわけで、どん底を通過し乗り越えてこそ、その人間の価値が発揮されるとも言えます。今回の結果を真摯に受けとめ、謙虚な立場から再出発し、どん底から這い上がってこそ、一皮も二皮もむけて人格に幅ができるのです。真価が問われる新たな4年間は既にスタートしています。



## 選挙戦フォトルポ

### 街頭演説を22回も!!

谷本候補は、他候補が避けて通った街頭演説を、朝8時から呉、吉浦、阿賀、広各駅頭で連日こなしました。また昼間は、れんがどおり、栄町商店街、三条商店街、広商店街、阿賀プラザ前、呉そごう前、コープ広島前、サンリブ前と、駅頭を含め合計22回も街頭で通行人に政策や主張を訴えました。中には最後まで耳を傾け、握手を求めると「あなたに投票するよ」と言って下さった方も何人かいました。

### 個人演説会は30会場

谷本候補は連日、昼間のミニ集会、夜の演説会各3会場と、精力的に個人演説会をこなし、呉市全域にわたり合計30会場とフル回転しました。特にただ「お願いします」を繰り返すのではなく、政策的な考え方を中心に、通常の市政報告会のように喉をからしながらも、各40分から50分も熱弁。「真実!清潔!刷新!」に恥じぬよう、裏表のない政治を本音で語りかけました。今回は新規に地元の東雲町、栄町、近隣では江原団地、三条、遠方では焼山桜ヶ丘、焼山西、焼山南、苗代・栃原、冠崎で開催できたことが、次回へのステップとなりました。

その結果、延べ578名の方が参加しましたが、前回に比べ一会場当たりの平均動員人数が少なかったのが最後まで響きました。谷本候補のように地縁・血縁や組織に頼らず、政策や主張で勝負する場合、やはり選挙戦の鍵を握っているのは、何と云っても個人演説会への動員であることが骨身にしみて実感させられました。

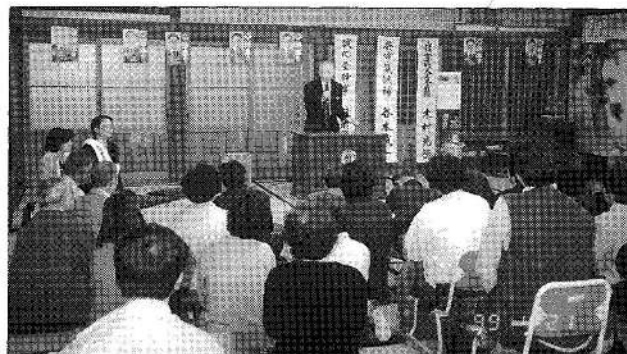
### 地元商店街を練り歩き

選挙戦最終盤の4月24日、谷本候補夫妻は地元商店街である栄町かられんがどおりへと、徒歩で通行人にお願いする戦術「練り歩き」を挙行了しました。組織選挙をしている陣営に比べ、実践部隊はウグイス嬢2名に総務班2名と僅かですが、量より質に勝負を賭けました。

特に宣伝カーに先回りをしてもらい、れんがどおり主要3箇所街頭演説。銀座デパート前で「教育問題」、イズミ前で「商店街活性化」、福屋前では「ポートピア問題と市営バスの民営化」と、それぞれ具体的に持論を展開し、買い物客や商店主に訴えました。



▲れんがどおり・銀座デパート前での遊説



▲冠崎では元山陽女子短大学長が応援演説



▲警固屋地区で熱弁奮う谷本誠一市議候補



▲天応・落走でポートピアの問題点を指摘



▲栄町商店街で買い物客と堅い握手を交わす



# カラオケ全日本覇者迎え、260名結集 中川秀直代議士、小西博行元参議も激励



▲炎のランナーのテーマに乗り谷本夫妻が登場

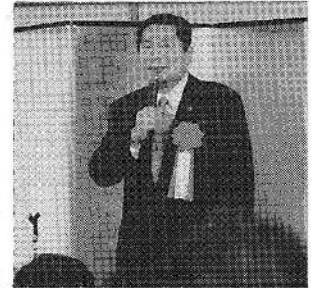
選挙戦も間近に迫った3月28日、呉阪急ホテルにて「谷本誠一夫妻を迎えて— 歌とスピーチ・ふれあいのひととき」と題し、谷本誠一決起集会が開催。4年前とほぼ同じの262名が会場を埋めつくしました。

まず小西博行元参議院議員が、谷本君が議員に出る前自分をひょっこり訪ねて来た思い出から、中川代議士との友情関係にまで話の花を咲かせました。次に谷本君の恩師である中川秀直衆議院議員が登場。同君の秘書時代の仕事ぶりの一端を紹介しながらも、呉市議会で活躍を評価しました。

谷本議員(当時)は、二人の来賓の話を用いし、国の動きが官から民への役割移行を前提にしているのと同様、呉市においての行政改革もかくあるべきと、辛口の議論を展開しました。後半は、カラオケ全日本チャンピオンの実績を誇る黒川昇一、須磨剛の両雄が自慢の喉を披露。役員や会員代表も歌唱し、最後には谷本本人も夫人のピアノ伴奏の二人三脚よろしく、なつメロによるメドレーで締めくくりました。



▲小西元参議の挨拶



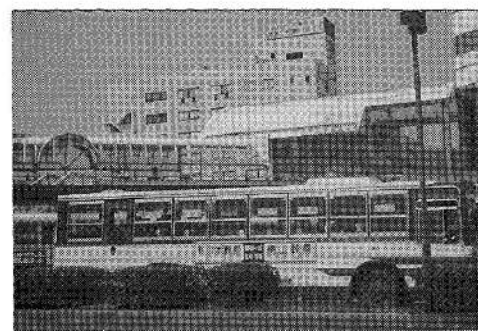
▲恩師・中川代議士

## 谷本誠一、4年間の実績

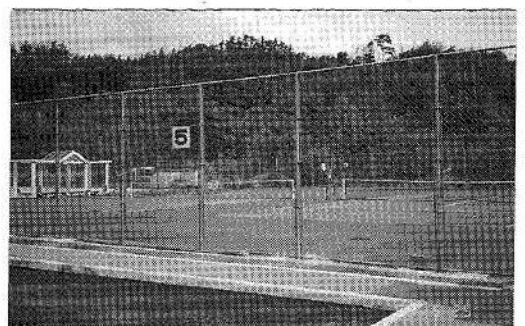
- ①H7. 9月議会・本会議一般質問にて  
フロンガスの回収を要望 H8度で予算化  
ごみの多分別化を要望  
H10度、資源物の分別回収化が実現
- ②H7. マリノポリス特委での質疑  
海事博物館を宝町埋立地に建設すべきと要望  
H10度、同博物館基本計画で明示
- ③H8. 3月議会・予算委での質疑  
市立図書館利用を周辺町に拡大すべきと要望  
H8度に呉市が決断し、利用広域化が実現  
市営バス事業経営改善へ外部審議会設立要請  
H10度予算化、4月、経営審議会が設立
- ④H8. 7月、公民館運営審議会にて意見  
椿会館ホールの結婚式優先制度撤廃を要望  
H9度より貸館申込3週間前の緩和が実現
- ⑤H9. 3月議会・予算委での質疑  
同和地区保育所の保育料減免制度撤廃を要望  
H9度、過渡的措置で7割から5割減免へ
- ⑥H10. 11月、ボランティア登録団体への法人市民税均等割5万円減免制度創設を部署要望  
H11当初より、同制度創設が実現
- ⑦H10. 12月、焼山公園テニスコート夜間照明設備と中央トイレ手足洗い場設置を部署要望  
H11度予算化、同年度中実現へ



◀図書館広域利用



◀バス事業健全化



▲焼山公園テニスコートに夜間照明